

2012年11月5日

各 位

上場会社名 中外製薬株式会社  
コード番号 4519 (東証 第一部)  
本社所在地 東京都中央区日本橋室町 2-1-1  
代 表 者 代表取締役会長 永山 治  
問い合わせ先 責任者役職名 広報 IR 部長  
氏 名 内田 誠彦  
電 話 番 号 03(3273)0881

会 社 名 日本イーライリリー株式会社  
本社所在地 兵庫県神戸市中央区磯上通 7-1-5  
代 表 者 代表執行役社長 アルフォンゾ G. ズルエッタ

## 閉経後骨粗鬆症治療薬「エビスタ<sup>®</sup>錠 60mg」に関する 日本イーライリリーと中外製薬の販売提携終了について

日本イーライリリー株式会社 [本社：兵庫県神戸市／代表執行役社長：アルフォンゾ G. ズルエッタ]  
(以下、日本イーライリリー) および中外製薬株式会社 [本社：東京都中央区／代表取締役会長 最高経営責任者：永山 治] (以下、中外製薬) は、閉経後骨粗鬆症治療薬「エビスタ<sup>®</sup>錠 60mg」(一般名：ラロキシフェン塩酸塩、以下、「エビスタ<sup>®</sup>」) に関する販売提携を、2012年12月31日をもって終了することといたしましたので、お知らせいたします。

これにより、国内では2013年1月から日本イーライリリーが「エビスタ<sup>®</sup>」の販売・流通を単独で行うこととなります。

日本イーライリリーと中外製薬は、協力してスムーズな移管を推進するとともに、移管期間中もこれまで同様の製品供給および医療ニーズに合う製品情報の提供を実施していきます。

本件による中外製薬の当期の連結業績への影響は軽微です。

以 上

### 本件についてのお問い合わせ先：

日本イーライリリー株式会社 渉外企画部 企画・広報担当 山本真紀  
TEL：078-242-9462  
E-mail：yamamoto\_maki@lilly.com

中外製薬株式会社 広報IR部 広報グループ  
TEL：03-3273-0881  
E-mail：pr@chugai-pharm.co.jp

## 【ご参考】

### 【骨粗鬆症治療剤「エビスタ®錠 60mg」の概要】

一般名	ラロキシフェン塩酸塩
製品名	エビスタ®錠 60mg
承認	2004年1月29日
発売	2004年5月12日
効能・効果	閉経後骨粗鬆症
用法・用量	通常、ラロキシフェン塩酸塩として、1日1回60mgを経口投与する。
薬理作用	選択的エストロゲン受容体モジュレーター（SERM：Selective Estrogen Receptor Modulator）のひとつで、エストロゲン受容体と結合することで骨吸収を抑制します。
薬価	60mg 1錠 122.6円
国内の状況	日本イーライリリーと中外製薬は、1995年12月に「エビスタ®」の共同開発・販売契約を締結し、両社で本剤の開発を行ってまいりました。2004年5月より、1ブランド2チャンネルによる並行販売を開始し、日本の骨粗鬆症の薬物治療にSERMという新しい治療概念を提案してまいりました。
海外での使用状況	1998年1月に米国で閉経後骨粗鬆症予防薬として発売しました。 （その後、米国では1999年に閉経後骨粗鬆症治療薬の適応症を取得） 現在、世界約100カ国で閉経後骨粗鬆症治療薬、予防薬として承認されています。（日本では、閉経後骨粗鬆症の治療剤としてのみ適応）

### 日本イーライリリー株式会社について

日本イーライリリー株式会社は、イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、革新的な医薬品の輸入・開発・製造・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、双極性障害、注意欠陥・多動性障害（AD/HD）、がん（非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん）、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症をはじめとする、ニューロサイエンス領域、がん領域、糖尿病領域、成長障害領域や筋骨格領域における治療法を提供しています。詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.lilly.co.jp>

### 中外製薬株式会社について

中外製薬は、医療用医薬品に特化し東京に本社を置く、バイオ医薬品をリードする研究開発型の東京証券市場一部上場の製薬企業であり、ロシュ・グループの重要メンバーとして、国内外で積極的な医療用医薬品の研究開発活動を展開しています。

特に「がん」領域を中心に、アンメット・メディカルニーズを満たす革新的な医薬品の創製に取り組んでいます。

国内では、御殿場、鎌倉の研究拠点が連携して創薬研究活動を行う一方、浮間では工業化技術の研究を行っています。また海外では、子会社の中外ファーマ・ユー・エス・エー、中外ファーマ・ヨーロッパにて、米国と欧州においてそれぞれ臨床開発活動を行っています。

2011年の連結売上高は3,735億円、営業利益は624億円でした。2012年は連結売上高4,185億円、営業利益800億円の達成を目指しています。

中外製薬に関するさらに詳しい情報は <http://www.chugai-pharm.co.jp/> をご覧ください。